

(第1号様式)

平成27年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 119 学校名 千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 課程名 全日制

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 専門高校の特色を生かして、活気に満ちた教育活動を推進する。 2 地域の期待に応える魅力ある開かれた学校づくりを推進する。 3 学校の魅力を確実に周知する広報活動を推進する。	① ホームページ内容の定期的な更新を行い、最新情報を提供する。 ② 地域の特徴を生かした新しい取組・教育(コース等)について推進し、生徒の確保に取り組む。 ③ 地域の公共機関と連携した地域貢献活動、学校開放講座、ボランティア活動の実施。 ④ 10周年記念誌の編集及び発刊。1日体験入学の複数回実施。	① ホームページの掲載内容と更新状況の確認。 ② 一日体験入学や学校説明会への参加状況 ③ 開かれた学校づくり委員による学校の評価や開放講座の実施回数、参加状況。 ④ 中学校訪問や1日体験入学の複数回実施による生徒の参加状況。
学習指導	1 生徒の実態に即した指導内容の精選、指導目標の明確化や目標に応じた授業構成・展開の工夫などの改善に努める。 2 各種検定等の資格取得を積極的に奨励するとともに、専門高校生として自信と誇りを持たせる。	① 生徒による授業評価アンケートを行う。 ② 生徒個々の進路実現に向けて、基礎基本を重視した内容を授業の中に取り入れる。 ③ 補習等を行い、各種検定に向けて取り組む。 ④ 全教科で校内研究授業を実施し、教科内での研修を行う。	① 生徒による授業評価の結果 ② 各教科における基礎的内容の指導の徹底とキャリア授業評価の結果。 ③ 各資格の取得状況。 ④ 校内研究授業・研修の実施回数とその状況。
生徒指導	1 生徒の自立性を高めるとともに、よりよい社会生活ができるよう基本的生活習慣の確立を図る。 2 授業中のマナー・モラルの向上に努める。	① 登校・下校指導を通して、服装・頭髪の指導を行い、自立心のあるきちんとした社会生活ができるように生徒を育成する。 ② 定期的な個人面談の実施とスクール・カウンセラーを活用する体制の充実を図る。 ③ 授業に臨む姿勢ができていないかアンケートを行う。	① 登校指導・下校指導における記録の内容確認。 ② 個人面談の実施状況とスクール・カウンセラーの活用状況。 ③ 生徒による授業評価の結果。
キャリア教育	1 それぞれの学年に応じた支援を行い、正しい職業観、勤労観の育成を目指し、進路の実現へ向ける。 2 インターンシップなど体験を重視したキャリア教育を行う。	① 卒業生や地域、企業等から講師を招いて進路説明会を行う。 ② 地域の企業と連携して職場体験学習を行う。 ③ キャリア授業による基礎的能力を身に付けさせる。	① 進路説明会の実施回数とその状況。 ② 職場体験学習の日数と受け入れ企業の評価。 ③ キャリア授業の評価結果。
特色ある教育活動	教科「福祉」やボランティアを通し、心豊かな人間の育成を行う。	① 福祉選択者の介護養成研修への参加と地域の施設との連携作業により行う。 ② 地域の清掃活動や地域の施設へのボランティア活動を行う。	① 介護職員初任者研修の取得状況。 ② ボランティア活動の実施回数と地域からの具体的な評価。

(第2号様式)

平成27年度 学校評価年間計画書

学校番号 119 学校名 千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 課程名 全日制

時期	開かれた学校づくり委員会 (学校関係者評価)	評価委員会の動き (自己評価)	生徒・保護者・地域対象の活動 (情報提供)
4月			
5月	第1回会議 ・今年度の目標 ・活動計画 ・委員会委員の決定	↓ ・今年度の重点目標 ・アンケートなど具体的な方策 ・指標等の設定 ・学校評価年間計画書の作成 県教育委員会への報告	始業式 入学式・PTA理事会 など
6月	委員による授業 参観、対話	授 業 公 開 職員相互の授業参観	PTA総会 面談週間による 行事参加 アンケートの実施
7月		第1回 保護者・生徒の評価の実施	
8月		↓	
9月		集約および報告	
10月	第2回会議 アンケートの途中経過の報告と改善方策の検討	学 校 公 開 (文化祭)	保護者による行事参加 及び対話の実施
11月			
12月		第2回 職員・生徒の評価の実施	
1月		実施したアンケートの集計 ・分析と改善方策の検討	
	第3回会議 学校自己評価の結果と改善方策について評価	教科・分掌・学年 職員会議	
2月		学校評価のまとめ	終業式 HPにより公表
3月	HPまたは郵送により報告	県教育委員会への報告 分析に基づく次年度の目標設定と学校改善	